



関市板取の「株杉」



■会長 加藤照彦 ■副会長 西田泰幸 ■幹事 伊佐治啓司



関市民 1000人が参加して創りあげた  
シャインカーブリンアード「関二鳥」

## D2630 ROTARY CLUB OF SEKI WEEKLY REPORT



SERVE TO CHANGE LIVES

2021 ~ 2022 年度国際ロータリーテーマ

『奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために』 SERVE TO CHANGE LIVES

RI 会長：シェカール・メータ

関ロータリークラブ会長テーマ

『和衷協同』 56 代会長：加藤照彦



### 本日のプログラム

第 2616 回例会 2021 年 12 月 11 日 (土)

「チャリティクリスマス家族例会」

於：みの観光ホテル

### 前例会の記録

第 2615 回例会 12 月 7 日 (火) 12:30

「和～自己成長とものづくり～」

関青年会議所 理事長 田中雄貴様

◆開会点鐘

◆会長挨拶



本日は、関青年会議所 田中雄貴理事長に卓話をして頂きます。暗い話題が多い中、若いパワーで元気を分けて頂きましょう。また、関 J C にも人手不足の波が来ているようです。もし、皆さんの中に後継者・社員・知り合いで推薦できる方があれば、田中理事長が受付されますので宜しくお願い致します。

11 月 20 日に、岐阜都ホテルで開催された地区職業奉仕委員会研修セミナーに参加させて頂きました。少しその時の話をさせて頂きます。最近、「職業奉仕とは何をするのですか」、「社会奉仕と何が違うのですか」という質問が多くあるそうです。会員の職業奉仕の捉え方としては、「自分の仕事で奉仕する」、「しっかり収益をあげて、納税を正しく行う」、「出前授業や社会見学で仕事の内容をアピールする」、「被災地に自社商品を提供する」などがあります。また、次のような話もよく聞くそうです。「例会を休みますが、会社で職業奉仕をしておきます」、「例会を早退して職業奉仕をしておきます」、「ロータリーの家族会で、会員の演奏家が破格の出演料を強制され、職業奉仕と思って我慢してほしいと言われた」などです。このことから、ロータリーの目的と理念が少しずつ崩れかけているということでした。皆さんには、釈迦に説法になると思いますが、奉仕の違いについてロータリーの木に例えて、幹の

部分が職業奉仕で大地から養分を吸い上げ、社会奉仕・青少年奉仕・国際奉仕の枝に分かれて緑の葉をつけ、実を实らせることが出来ます。職業奉仕とは奉仕の根幹であり、良質な職業奉仕を行う ⇒ 幹が太くなる (企業の繁栄) ⇒ より大きな収穫ができる ⇒ より大きな対外奉仕ができることにつながります。職業奉仕を念頭に、相手の立場に立った職業活動を行い、相手の喜びを自分の喜びとしながら職業人としてより高い倫理の向上に努め、世の中に広めていくことが大事なことです。先日テレビで、林修さんと料理研究家の対談を視聴しました。内容は、食堂を営む老夫婦が「自分たちは年金が入るから生活には困らない。それよりお客さんに喜んでもらいたい」ということで、大盛り・低価格で提供しているお店をマスコミが美談として取り上げられていました。(これは職業奉仕です)しかし、このお店が大盛り・低価格で提供することにより地域の飲食店にダメージを与え、価格破壊にも繋がります。これでは社会奉仕に繋がりません。ロータリーの根底にある【真実かどうか・みんなに公平か・みんなのためになるかどうか】を考える必要があります。私たち企業は、将来の人づくりに励まなければなりません。言わば、職業奉仕の人づくり・モノ作りは未来の世界を作ることであり、それは青少年と共に歩む道であり、先達者が示す道でもあります。我々の職業奉仕の究極は、未来のある青少年の世界を作る奉仕であり、青少年奉仕が究極の目的であるということです。

### ◆委員会報告

◎出席委員会 委員長 秋柝達也会員

会員 48 名中 出席 23 名 出席率 47.92%

◎ニコボックス委員会 委員長 酒向徳享会員

会長・副会長・幹事の皆さん・・・本日のお客様、関青年会議所 理事長 田中雄貴様、佐藤孝昭様、卓話、出席者一同楽しみにしております。よろしくお願ひ申し上げます。今週末のチャリティクリスマス例会への募金の協力誠にありがとうございます。

長尾一郎会員・木村聡会員・尾崎嘉彦会員・加藤浩二会員・林昇会員・栗倉吾吾会員・古田貴巳会員・酒向徳享会員・福田春彦会員・山田一成会員・塚原清文会員・秋柝達也会員・・・関青年会議所理事長 田中

雄貴様ようこそ関ロータリークラブへ。1年間磨き上げた楽しく流暢なスピーチを期待しています。コロナ禍でのご苦労もあったかとは思いますが、若い活力を我々に与えてください。追伸 JC 卒業後のロータリーの座席は空けておきます。

奥村社会奉仕委員長・西田副会長…皆様遅まきながら御礼申し上げます。皆様のご協力により関市指定避難所の取材写真撮影がつつがなく完了しました。誠にありがとうございます。また会長のご協力によりドローンによる撮影もしていただきました。先日拝見したところNHK番組かと見間違ふほど素晴らしい映像でした。目下、完成を目指し奮闘中です。今しばらくお待ち下さい。

#### ◆「和～自己成長とものづくり～」

関青年会議所 理事長 田中雄貴様



私は一般社団法人関青年会議所 2021 年度の理事長の田中雄貴と申します。社業は義春刃物株式会社で、学童用の彫刻刀やハサミなどを製造販売しています。皆様方には日頃より、私共の活動に多大なるご理解とご協力をいただきまして誠にありがとうございます。それでは、まずは私自身のことを少しお

話ししたいと思えます。私は 1983 年に愛知県春日井市で生まれました。そう、私は関市出身ではありません。高校、大学と名古屋市で生活し、就職先も名古屋市内の企業でした。そんな私と関市との縁は結婚です。結婚のご挨拶に伺ったときに婿に来ることはできるかと言われたときは驚きました。私も長男だったため一度、自分の家族と話し合い、その結果、田中家に温かく婿として迎えていただくこととなりました。そして、30歳で関市に移り住み入社しました。それからは全く畑違いの製造業に就いたことで勉強の日々が続きましたが、今では、工場長として生産管理や自分自身も職人として働く日々を過ごしています。JC との出会いは私が関市で働き始めた 1 週間後のことでしたが、転職して間もないためにすぐに入会はできませんでした。関市に来て 2 年が経った頃、そろそろ新しいことにチャレンジしたいと思い入会にしました。入会してからは仕事に家庭に JC に一生懸命頑張ってきましたが、JC に入って一番良かったことはやはり人との出会いだと思います。現役メンバーはもちろんですが、JC の先輩方にも入会したことで色々なところで出会う機会が生まれました。その出会いや経験が私を大きく成長させてくれたと実感しています。そうして新しい出会いの楽しさを知った私は毎年のように岐阜ブロック協議会へ出向させていただきました。そこでは岐阜県中の JC から出向者が集まり委員会を作ります。初めて会ったメンバーの集団がどんどん仲良くなっていき絆が生まれて全員で成功させるぞという雰囲気包まれます。私はその雰囲気が大好きでした。しかし、関 JC ではメンバー数が減少している中でも委員会数は変わらず、委員会の構成メンバーはどんどん少なくなっています。もち

ろん委員会というのは必要で、何か事業を行う時は担当委員会が主導で動くことは当たり前ですが、関 JC の事業であるのだから全員で協力して行っていく。成功した時の達成感をみんなで味わおう。そうした思いをこめて「和すれば強し」というスローガンを掲げさせていただきました。コロナ禍ではありませんが当初計画した例会、事業は一つも中止にすることなく全て行うことができました。お互いの存在を認め合うことで、すべてのメンバーの経験や知識が足し算のように「和」されたことで、その時々的情勢に応じた最大限の運動を展開することができたと思います。ただ仲がいいだけの和ではなく、多くの出会いがあり、お互いに切磋琢磨することができる。そういう自己成長の先にこそ、まちづくりがあると考えています。JC では色々な役職を通して大きく成長させていただきました。この自身の成長を社業へも繋げていきたいと思えますが、会社の現状を見てみると決して良い状況とは言えません。関市は皆さんご存じの通り、刃物のまちとして有名ですが、その中にある義春刃物の将来は果たして明るいのかとよく考えてみると、少子化問題などあり今のままではヤバイと言わざるを得ません。私たちの事業は学童用刃物が主な商品のために子供の数が減っていくとそのまま売上に直結してしまうのです。では、企業として将来のために何をすべきなのか。まずは自社の強みを理解することが必要で、その強みがあるからこそ他社との差別化を図ることができます。そしてもう一つは新規の販路を開拓することが必要です。こうした観点から数年前から新商品を開発するなど新しい活動を企業全体で行ってまいりました。そして今、JC で成長できたからこそ誰かのために役に立つものづくりがしたいと強く考えています。今までのものづくりも間違いなく誰かの役に立ちます。しかし、すでに他社でも作られているものばかりです。「義春刃物にしかできない、自社の強みを活かし、新しい販路を開拓し、困っている人の役に立つ。そんなものづくりをしたい。」と欲していたところに全く分野の違う新しい企業と出会います。やはり新しい出会いは面白いと感じた瞬間でした。今、義春刃物が新しく挑戦している分野は介護食です。嚥下障害で苦しんでいる方々に本当のお肉で柔らかい食を作ってあげたいという思いから家電メーカーとタッグを組んで開発し「デリソフトー」という新商品を完成させることができました。JC での成長のおかげで私は臆することなく新しいことへ挑戦することができています。これからも多くの出会いや困難があると思えます。その全てを楽しみながら常に一步踏み出す勇気をもって、JC 活動に社業に邁進してまいります。

#### ◆幹事報告

◎例会終了後「理事、役員会」開催

◎12月のロータリーレート 1ドル:114円

次例会のご案内 12月21日(火) 12:30

「贈呈式」「年次総会」